

研究計画書作成支援ソフトの日本語化の試み

新潟医療福祉大学 医療情報管理学科・
井上弘樹, 森脇健介, 瀧口徹, 福島正巳

【背景】

医学研究において、研究資金を申請するための適正な研究計画書を作成・提出することは、研究者の責務であるとともに、研究者のリサーチ・クエッションを具体的な研究活動に発展させるための組み立てを行う、実務的に重要なプロセスであるとも考えることができる。本件は論文の批判的吟味とともに研究者教育の一環として今後ますます重要になってくると思われる。そこで今回、既存の海外のアプリケーションソフトである研究資金申請のための研究計画書作成支援ツールの日本語化を試み、かつ、試作を通してその開発可能性と有用性または発展性について検討を加えることとした。

【方法】

今回行った、Crombie ら¹⁾によるアプリケーションソフト Grant Version 1.0 (1998年。以下オリジナル版)の日本語化試作に際し、動作時に表示される説明ページの文章の日本語訳を行ったが、オリジナル版を逆解析する等の行為は一切行っておらず、ソフト自体は最初から新たに開発を行った。開発に当たり、オリジナル版が有する問題点①フロッピーディスク以外ではPCへのインストールが不可能であること、②最新の64bit版Windows OSでは動作しないこと、の2点に関して改善を行った。2012年現在と1998年当時との開発環境の相違から、開発には現在も使用可能なVisualStudio.NETとHTML Help Workshop version 1.3を用いた。

【結果】

日本語化試作版 Grant の操作画面を図1に示す。図1左側の操作画面にある、ラジオボタンをマウスでクリックすることにより、図1右側にあるような対応する項目の説明ページが迅速に表示され、ラジオボタンを切り替えると同時に説明ページも迅速に切り替わる。左側の操作画面はVisualStudio.NETを用いてプログラムを記述し、右側の説明ページに新たに作成したオンラインヘルプファイルを用いている。本試作ソフトの容量は約150キロバイトである。msi形式のインストーラパッケージで供給され、近年のPCのようにフロッピーディスクドライブを持たないPCに対しても、フロッピーディスクを用いずにインストール可能となっている。また、VisualStudio.NET上で組まれたため64ビット版Windows7上で動作可能である。

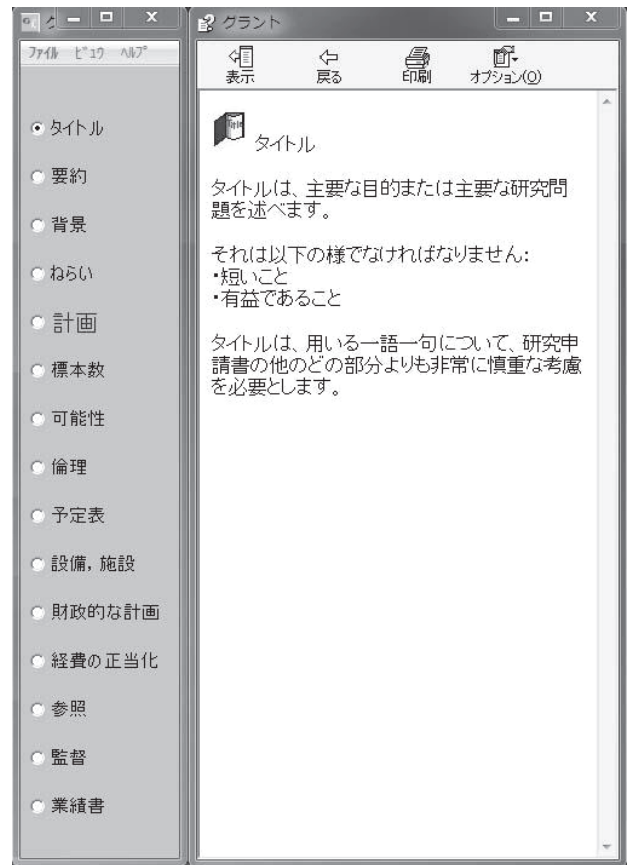


図1. 操作画面。

【考察】

日本語化試作にあたり、オリジナル版の機能をほぼ再現することができた。幾つかの再現されなかった仕様については、ヘルプファイル自体がオリジナル版(hlp形式)と日本語化試作版(chm形式)で異なっていることや、当時と現在の開発環境の差異に由来するものと考えられた。オリジナル版は研究者が申請書を記述する際に、段階を追って実用的な注意や助言を与えることに主眼が置かれていて、他に研究計画の作成に有用な機能と考えられる、サンプルサイズ計算機能等は無く、使用者がその特徴を理解した上で適宜利用する必要があるものと思われた。また、一部の説明ページには英国における保健当局についての記載があり、もし日本語化試作版を実運用する際には内容を一部本邦の事情に即したものに置き換えることも必要であると考えられた。

【結論】

海外の研究計画書作成支援ツールの日本語化試作を通じて、今後本邦において同様の目的で支援ツールを作成する場合に、必要な仕様を検討する際の一助とすることができた。

【文献】

- 1) Crombie I, Florey C. Pocket Guide to Grant Applications. BMJ Books, 1998